

【7】「公共建築の日」フェスティバル2008in北彩都

旭川開建-4

取り組み内容

1. 背景：平成15年に策定された「公共建築の日」及び「公共建築月間」の主旨（国民により公共建築を理解してもらう）に則り、全国の整備局等が各自治体などと協働で取り組んでいます。
2. ねらい：公共建築が果たしている役割等を、理解と関心をもってもらい、更に愛着を深めてもらうことを目的にする。
3. 取り組み内容：家族で楽しめる参加型イベントとして、ダンボールシティ（ダンボールで家をつくり、皆でまちを作る）、ペーパークラフト作成及び耐力壁コンテストをおこない、公共の営繕事業を紹介するパネル、模型の展示と気象台の観測機器等を展示した。
4. 取り組みにおける各者の役割
局営繕部、旭川開発建設部：イベントの企画、調整、運営、事業パネルなどの展示
その他の団体：イベントの運営、事業パネル及び模型等の貸し出し
5. 実施時期：平成20年9月20日（土）
6. 実施場所：旭川合同庁舎アトリウム、エントランスホール
7. 協働主体：「公共建築の日」及び「公共建築月間」北海道地方実行委員会、旭川地方气象台、北海道、北海道立北方建築総合研究所、旭川市、（社）日本建築家協会北海道支部、（社）北海道建築士会、（社）北海道建築士事務所協会、（社）旭川建設業協会、（財）北海道開発協会



ペーパークラフト



气象台観測機器

各種展示



ダンボールシティ

